

# 一般社団法人 日本薬物動態学会 発行

## ニュースレター 媒体基礎資料

### 日本薬物動態学会 概要

「薬物動態学」とは、医薬品を中心とした様々な化学物質の体内での動きと、薬理効果や毒性発現の関連性を追究する学問分野です。本学会は、創薬（新医薬品の創製）および医薬品の適正使用における薬物動態研究の発展性を先見し、1985年に創立されました。

### ニュースレター 概要

日本薬物動態学会では、「ニュースレター」を年に6回（偶数月の下旬）発行しています。ニュースレターは、薬物動態研究に関連した有意義な情報を発信しています。本学会が発行する英文学術誌である「Drug Metabolism and Pharmacokinetics」(DMPK)の掲載論文に関する著者からのメッセージ（日本語での解説など）、薬物動態研究の先駆者である偉大な研究者や現役の研究者からのメッセージ及び薬物動態研究の方法論の解説など、内容は多岐にわたります。

ニュースレターの記事は下記サイトをご参照ください。

<https://www.jssx.org/newsletter/about/>

### ニュースレター 発行概要

#### ■ バナー広告（メールマガジン）

- 広告料金 : 1回 50,000円（消費税別）  
配信日 : 偶数月25日  
申込締切日 : 配信前月10日  
原稿締切日 : 配信前月25日  
掲載力所 : 4カ所（バナー画像付きバナー2種、テキスト広告1種）  
バナーサイズ : 横130×縦300ピクセル  
横200×縦92ピクセル  
データ仕様 : JPEG

# メールマガジン 広告

## [メールマガジンイメージ]

### 1. メールマガジン バナー広告

**JSSX 日本薬物動態学会**  
The Japanese Society for the Study of Xenobiotics

このメールが正しく表示されない場合は、  
[ここをクリックしてブラウザをご覧ください。](#)

日本薬物動態学会ホームページ  
第31回ワークショップ/第11回ショートコース  
NEWSLETTER, Volume 32, Number 2, 2017

ニュースレター編集委員会より

2017年度も間もなく一ヶ月が経とうとしています。新天地にてご活躍され始めた方も多数いらっしゃると思います。年々激動の波が激しくなっている世の中、高い志を持って日々の研究活動に邁進していただきたいものです。今回も多岐にわたるメニューをご用意いたしましたので、ご堪能して頂けたら幸いです。

さて、本号では、「NEW FACE - NEW POWER」は東シ株式会社 坂井知津香先生よりマイクロミビグについて、「技術の窓」は国立成育医療研究センター研究所再生医療センター 阿久津英憲先生よりミニ腸の作製について、ご投稿頂きました。3回シリーズの2回目となる「企業で活躍する薬物動態の基礎講座」は第一三共株式会社 中山慎太郎先生より、創薬段階での関係者間の協働について引き続き解説して頂きます。「アドマサークル」も3回シリーズの2回目ですが、岩手医科大学薬学部の寺島 潤先生より薬物代謝動態学講座の研究紹介を頂戴します。また、5月17日(水)より学術総合センターにて開催されます日本薬物動態学会第31回ワークショップ/第11回ショートコースのご案内もあります。どうぞお楽しみください。

**[NEW FACE - NEW POWER]**

- ブタが導いてくれた多くの出会い 東シ株式会社 医薬研究所 安全性研究室 薬物動態グループ 坂井知津香

**[アドマサークル]**

- Cytochrome P450と適応 岩手医科大学薬学部 寺島 潤

**[企業で活躍する薬物動態の基礎講座(ニュースレター編)]**

### 2. メールマガジン テキスト広告

ニュースレター 編集委員会より

2017年度も間もなく一ヶ月が経とうとしています。新天地にてご活躍され始めた方も多数いらっしゃると思います。年々激動の波が激しくなっている世の中、高い志を持って日々の研究活動に邁進していただきたいものです。今回も多岐にわたるメニューをご用意いたしましたので、ご堪能して頂けたら幸いです。

さて、本号では、「NEW FACE - NEW POWER」は東シ株式会社 坂井知津香先生よりマイクロミビグについて、「技術の窓」は国立成育医療研究センター研究所再生医療センター 阿久津英憲先生よりミニ腸の作製について、ご投稿頂きました。3回シリーズの2回目となる「企業で活躍する薬物動態の基礎講座」は第一三共株式会社 中山慎太郎先生より、創薬段階での関係者間の協働について引き続き解説して頂きます。「アドマサークル」も3回シリーズの2回目ですが、岩手医科大学薬学部の寺島 潤先生より薬物代謝動態学講座の研究紹介を頂戴します。また、5月17日(水)より学術総合センターにて開催されます日本薬物動態学会第31回ワークショップ/第11回ショートコースのご案内もあります。どうぞお楽しみください。

**[NEW FACE - NEW POWER]**

- ブタが導いてくれた多くの出会い 東シ株式会社 医薬研究所 安全性研究室 薬物動態グループ 坂井知津香

**[アドマサークル]**

- Cytochrome P450と適応 岩手医科大学薬学部 寺島 潤

**[企業で活躍する薬物動態の基礎講座(ニュースレター編)]**

**[技術の窓]**

- ミニ腸の作製 阿久津英憲先生

**[アドマサークル]**

- Cytochrome P450と適応 岩手医科大学薬学部 寺島 潤

**[企業で活躍する薬物動態の基礎講座(ニュースレター編)]**

- ミニ腸の作製 阿久津英憲先生

**[技術の窓]**

- ミニ腸の作製 阿久津英憲先生

**[アドマサークル]**

- Cytochrome P450と適応 岩手医科大学薬学部 寺島 潤

**[企業で活躍する薬物動態の基礎講座(ニュースレター編)]**

**広告主 広告**

NEO-TQ-3

### 3. ホームページ バナー広告

**JSSX 一般社団法人日本薬物動態学会**  
The Japanese Society for the Study of Xenobiotics

Google 検索

NewsLetter Volume 32, Number 4, 2017

**はじめに**

気候変動の影響が、初夏の猛暑に、空梅雨、冷夏、ギリ夏と天候不順の日が続いております。会員の皆様は、この夏を如何にお過ごしでしょうか。さて、今号のニュースレターも多岐にわたる話題にてお送りいたします。

前号に引き続きニュースレターの「廣聴」には、DIS (ディレクターズ・インシアナプセション) の活動方針を掲載して頂きました。今号は、NEW MODALITY DIS (次世代薬、治癒DIS) (横浜国立大学 宗原 隆先生)、有効性・安全性評価DIS (東京大学 梶野淳之先生)、Microphysiological system DIS (千葉大学 岡根秀一先生)、臨床薬理・薬物動態DIS (九州大学 家入一郎先生) の各委員会からです。また、東京薬科大学の平本久遠先生には、企業での経験を活かしたアカデミアでの研究活動に対する熱い思いを「NEW FACE - NEW POWER」に寄稿して頂きました。また、「学会通じるべ」には京都大学の藤田淳子先生より、京都リサーチパークで開催されました「薬物送達・薬物学国際シンポジウム」の様子を、写真を交えて紹介して頂きました。「技術・研究材料紹介 (企業広告)」は、富士通九州システムサービスからDDI Simulatorによる薬物相互作用の定量的予測についてご紹介頂きました。運動のお供に、少しでも皆様のお役にたてば幸いです。

**特集記事のご紹介**

**NEW FACE - NEW POWER**

はじめに、このような貴重な機会を与えてくださいましたニュースレター編集委員会の先生方に厚く御礼申し上げます。私は、東京薬科大学薬学部・薬物動態新習学教室 (主幹：井上勝太郎教授) の助教として、薬物動態研究及び教育活動に携わっています。大学の職に就く以前は、製薬企業にて医薬品開発における製剤設計研究に携わっていました。本号では、企業と大学の両方の経験が活かされた、私なりの研究内容である「薬物動態研究の活性化を介して薬品開発を高度化する」について書いて頂くと共に、将来の研究活動に対する展望を述べさせて頂きたいと思います。

**学会 通じるべ**

「学会 通じるべ」では、薬物動態という枠組みにとらわれず、日本薬物動態学会の会員にとって役に立つと思われる学術論文を取り上げ、それらの学術論文は学会の学術や情報などを発信していたことを目的としています。薬物動態研究者は、学術のみならずにおいても、単なる薬物の動態の枠組みを超えて、薬物動態や薬理動態など多方面において活躍されていることと想います。そのような状況の中で、会員諸氏にとって役に立つような学術発表を紹介できるコーナーを目指しています。会員のみならずから興味のある学術発表についての情報をお知らせいただければ、このコーナーで取り上げるつもりですので、ぜひお寄せください。

**技術・研究材料紹介 (企業広告)**

このコーナーは、薬物動態研究の技術や研究材料を提供する企業から広告として紹介いただけます。新たな技術や製品情報に関することにより、研究がより効率よく進むことを期待して頂きます。

### 4. ホームページ テキスト広告

**JSSX 一般社団法人日本薬物動態学会**  
The Japanese Society for the Study of Xenobiotics

Google 検索

NewsLetter Volume 32, Number 4, 2017

**はじめに**

気候変動の影響が、初夏の猛暑に、空梅雨、冷夏、ギリ夏と天候不順の日が続いております。会員の皆様は、この夏を如何にお過ごしでしょうか。さて、今号のニュースレターも多岐にわたる話題にてお送りいたします。

前号に引き続きニュースレターの「廣聴」には、DIS (ディレクターズ・インシアナプセション) の活動方針を掲載して頂きました。今号は、NEW MODALITY DIS (次世代薬、治癒DIS) (横浜国立大学 宗原 隆先生)、有効性・安全性評価DIS (東京大学 梶野淳之先生)、Microphysiological system DIS (千葉大学 岡根秀一先生)、臨床薬理・薬物動態DIS (九州大学 家入一郎先生) の各委員会からです。また、東京薬科大学の平本久遠先生には、企業での経験を活かしたアカデミアでの研究活動に対する熱い思いを「NEW FACE - NEW POWER」に寄稿して頂きました。また、「学会通じるべ」には京都大学の藤田淳子先生より、京都リサーチパークで開催されました「薬物送達・薬物学国際シンポジウム」の様子を、写真を交えて紹介して頂きました。「技術・研究材料紹介 (企業広告)」は、富士通九州システムサービスからDDI Simulatorによる薬物相互作用の定量的予測についてご紹介頂きました。運動のお供に、少しでも皆様のお役にたてば幸いです。

**特集記事のご紹介**

**NEW FACE - NEW POWER**

はじめに、このような貴重な機会を与えてくださいましたニュースレター編集委員会の先生方に厚く御礼申し上げます。私は、東京薬科大学薬学部・薬物動態新習学教室 (主幹：井上勝太郎教授) の助教として、薬物動態研究及び教育活動に携わっています。大学の職に就く以前は、製薬企業にて医薬品開発における製剤設計研究に携わっていました。本号では、企業と大学の両方の経験が活かされた、私なりの研究内容である「薬物動態研究の活性化を介して薬品開発を高度化する」について書いて頂くと共に、将来の研究活動に対する展望を述べさせて頂きたいと思います。

**学会 通じるべ**

「学会 通じるべ」では、薬物動態という枠組みにとらわれず、日本薬物動態学会の会員にとって役に立つと思われる学術論文を取り上げ、それらの学術論文は学会の学術や情報などを発信していたことを目的としています。薬物動態研究者は、学術のみならずにおいても、単なる薬物の動態の枠組みを超えて、薬物動態や薬理動態など多方面において活躍されていることと想います。そのような状況の中で、会員諸氏にとって役に立つような学術発表を紹介できるコーナーを目指しています。会員のみならずから興味のある学術発表についての情報をお知らせいただければ、このコーナーで取り上げるつもりですので、ぜひお寄せください。

**技術・研究材料紹介 (企業広告)**

このコーナーは、薬物動態研究の技術や研究材料を提供する企業から広告として紹介いただけます。新たな技術や製品情報に関することにより、研究がより効率よく進むことを期待して頂きます。

**広告主 広告**

NEO-TQ-3

#### ■ 広告申し込み先 ■

株式会社メディコム

東京都中央区日本橋茅場町 2-13-8

Tel : 03-6264-8288

メール : nakandakari@medicomnet.jp

担当 : 仲村渠 (なかんだかり)